

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 29 日作成)

委員会名	安全性小委員会	主 査 名：濱本卓司
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会	委員長名：登坂宣好
設 置 期 間	2000 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	21 世紀の都市生活を安全で快適に送るためには都市補完型海洋建築の建設が必要になると考えられる。この多目的海洋建築物の設計と建設に当たっては、厳しい自然環境下における構造安全性、目的・用途に応じた機能性、通常時の居住性といった「外からのリスク」とともに、海洋建築の存在が周辺海域と都市の安全・環境・景観に与える「内からのリスク」を十分に配慮することが必要である。本小委員会では、「外からのリスク」と「内からのリスク」の要因を抽出して総合的に評価する方法を構築するとともに、この評価法に基づく都市補完型海洋建築の設計法を提案する。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：濱本卓司(武蔵工業大学) 幹事：遠藤龍司(職業能力開発総合大学校) 委員：大塚清敏(大林組技術研究所) 加村久哉(NKK 基盤技術研究所) 近藤一平(佐藤工業中央技術研究所) 近藤一夫(広島大学) 新宮清志(日本大学) 関洋之(梓設計) 高橋利恵(前橋工科大学) 中西三和(日本大学) 福住忠裕(神戸大学) 藤田謙一(横川ブリッジ) 矢代晴実(東京海上保険)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	210,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	4 月 25 日(金) 15:00~17:00 参加人数 10 名, 5 月 30 日(金) 15:00~17:00 参加人数 11 名, 6 月 20 日(金) 15:00~17:00 参加人数 10 名, 7 月 11 日(金) 15:00~17:00 参加人数 11 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>今年度の海洋委員会は、大会研究協議会でこれまでの 3 年間にわたる活動の総括として『「都市機能補完型海洋建築」の計画と提言』を提示した。</p> <p>安全性小委員会からは、アダプティブ海洋建築の提言に基づき、現代都市の抱えるリスクについて言及した。「都市機能補完型海洋建築」という新しい概念を社会に問い、基本的なコンセプトを示すことが出来たものと考えている。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>各委員に与えられたリスク要因の資料に基づき活発な議論が展開された。これらの資料に基づき、本年度の本小委員会の成果並びに研究協議会資料として完成を予定していた都市の自然災害および人為災害に関する安全性リスクの報告書の作成が完了し、目的は達成されたものと思われる。</p>
その他評価すべき事項	<p>成果としての提言は“「都市機能補完型海洋建築」に関する調査研究”(中間報告)として 300 頁以上からなる冊子にまとめられている。中間報告としたのは、この成果が今後企画運営委員会に設置される出版 WG により編集がなされ出版を予定しているからである。</p>